

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月13日

協議会名: 宮城県地域路線バス等対策連絡協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス No.1 白石遠刈田線 (白石蔵王駅～アクティブリ ゾーツ宮城蔵王)	<ul style="list-style-type: none"> 沿線高校の新生に時刻表を配布 白石市の総合交通案内に情報を掲載し、JR白石駅構内に時刻の案内を掲示 新経路の利用定着を図った 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。 ・新経路の利用定着を図る)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 高校との打ち合わせの結果、新生に時刻表を配布した。</p>	A 計画通り適切に実施された。	B 運行回数は計画通り、輸送人員と収入は前年度比で大幅減少した。 ・輸送人員:前年度比81.7% ・運送収入:前年度比84.7%	<ul style="list-style-type: none"> 今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。 インバウンド対策による企画乗車券の継続(東北インバウンドパス)
(株)ミヤコーバス No.2 川崎線 (大河原駅前～川崎)	<ul style="list-style-type: none"> 沿線高校の新生に時刻表を配布 3月のダイヤ改正で運行便数と時刻の見直しを実施。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 沿線高校との打ち合わせの結果、新生に時刻表を配布した。 学校の意見を聴きながら、運行時刻の検討を実施。</p>	A 計画通り適切に実施された。	B 運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比で減少 ・輸送人員:前年度比83.1% ・運送収入:前年度比92.9%	<ul style="list-style-type: none"> 今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。
(株)ミヤコーバス No.3 川崎線 (大河原駅前～村田営業所)	<ul style="list-style-type: none"> 沿線高校の新生に時刻表を配布 3月のダイヤ改正で運行便数と時刻の見直しを実施。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 沿線高校との打ち合わせの結果、新生に時刻表を配布した。 ダイヤ改正を行い、時刻の調整を行った。</p>	A 計画通り適切に実施された。	B 運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比で減少 ・輸送人員:前年度比83.1% ・運送収入:前年度比88.2%	<ul style="list-style-type: none"> 今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。

<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.4 利府線 (塩釜営業所～しらかし台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 沿線高校に時刻表を配布 JRのダイヤ改正に合わせた時刻改正 利府町が実施する高齢者への運賃補助により利用促進(補助額増額) 	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり (・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】沿線高校との打ち合わせの結果、高校に時刻表を配布した。</p>	A	計画通り適切に実施された。	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比で増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員:前年度比113.6% 運送収入:前年度比118.5% <p>・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.5 ゴルフ場線 (マリンゲート塩釜～千賀の台西)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 沿線高校に時刻表を配布 JRのダイヤ改正に合わせた時刻改正 利府町が実施する高齢者への運賃補助により利用促進(補助額増額) 	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり (・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】沿線高校との打ち合わせの結果、高校に時刻表を配布した。</p>	A	計画通り適切に実施された。	B	<p>運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比横這い</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員:前年度比98.1% 運送収入:前年度比100.5% <p>・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.6 吉岡線 (泉中央駅～道下)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 沿線高校に時刻表を配布 	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり (・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】沿線高校との打ち合わせの結果、黒川高校に時刻表を配布した。</p>	A	計画通り適切に実施された。	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員、収入とも前年度比で増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員:前年度比101.7% 運送収入:前年度比112.8% <p>今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.7 色麻線 (古川駅前～色麻町役場)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本路線も掲載されている大崎市の公共交通総合案内を高校の新生に配布 イベント時のポスター等へのバス情報の掲載 運転免許自主返納者に対する割引実施と利用促進 	<p>【前回の事業評価結果】自己評価のとおり (・今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】沿線学校との打ち合わせの結果、新生に時刻表を配布した。</p>	A	計画通り適切に実施された。	B	<p>運行回数は計画通り、輸送人員・収入ともに減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員:前年度比94.7% 運送収入:前年度比88.2% <p>今後も高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。</p>

<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.8 石巻免許センター線 (石巻駅前～日赤病院)</p>	<p>・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	A	計画通り適切に実施された	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比で微増 ・輸送人員：前年度比102.2% ・運送収入：前年度比101.9%</p>	<p>今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.9 河南線 (石巻駅前～河南総合支所)</p>	<p>・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	A	計画通り適切に実施された	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員・収入とも前年度比で増加。 ・輸送人員：前年度比108.6% ・運送収入：前年度比119.3%</p>	<p>今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.10 石巻専修大学線 (石巻駅前～飯野川)</p>	<p>・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知 ・沿線でのイベント(まきあーとテラス)の際にバス利用を周知</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体や石巻専修大学と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	A	計画通り適切に実施された	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員と運送収入は大幅増となった。 ・輸送人員：前年度比160.3% ・運送収入：前年度比135.7%</p>	<p>今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.11 河北線 (石巻あゆみ野駅～飯野川)</p>	<p>・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	A	計画通り適切に実施された	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員と収入は横這いとなった。 ・輸送人員：前年度比100.3% ・運送収入：前年度比100.8%</p>	<p>今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。</p>

<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.12 鮎川線 (石巻駅前～鮎川港)</p>	<p>・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	A	計画通り適切に実施された	B	<p>運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比で減少 ・輸送人員：前年度比85.3% ・運送収入：前年度比95.2%</p>	<p>今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.13 女川線 (石巻駅前～女川運動公園)</p>	<p>・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	A	計画通り適切に実施された	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比で増加。 ・輸送人員：前年度比104.8% ・運送収入：前年度比109.3%</p>	<p>今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.14 蛇田線 (石巻駅前～蛇田～あゆみ野駅南)</p>	<p>今後の路線のあり方について、関係機関で協議</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・路線再編後の利用状況について、関係機関で情報共有 ・石巻市制作のバスマップを活用し、バス利用を周知</p>	A	計画通り適切に実施された	A	<p>運行回数は計画通り、輸送人員、収入ともに前年度比で増加 ・輸送人員：前年度比112.2% ・運送収入：前年度比110.7%</p>	<p>今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。</p>
<p>(株)ミヤコーバス</p> <p>No.15 御崎線 (気仙沼市立病院～御崎)</p>	<p>沿線高校の登下校時間に合わせたダイヤ調整検討。 バスマップ・総合時刻表の作成、配布</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり (・自治体と連携し、バス利用の周知を図る。)</p> <p>【事業評価結果の反映状況】 ・利用状況について、関係機関で情報共有</p>	A	計画通り適切に実施された	B	<p>運行回数は計画通り、輸送人員・収入は減少した。 ・輸送人員：前年度比85.1% ・運送収入：前年度比91.4%</p>	<p>引き続き、今後の路線のあり方について、関係機関で協議する。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月13日

協議会名:	宮城県地域路線バス等対策連絡協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>少子高齢化に加え、人口減少等によりバス利用者は減少しているが、自家用自動車等の移動手段を持たない住民にとって、バスは必要不可欠である。</p> <p>前述の理由によりバスの利用者が低迷しているところに新型コロナウイルス感染症による旅客の急減によりさらに厳しい状況に陥っていることから、バス事業者の自主努力のみで路線を維持することが困難な状況であることから、公的支援が必要不可欠である。</p> <p>特に幹線系統に関しては、「まちづくり」という観点から事業者のみではなく沿線自治体と共に、地域交通全体の中でバス交通の役割・サービスレベルなどを検討・向上する必要がある。</p>